

みなさまこんにちは！10月も終わりになりやっと秋の気配が感じられる日々となりましたが、みなさま変わらずご活躍のことと思います。今回は、災害への備えと、病院、地域包括支援センターの紹介についてお伝えいたします。

災害時の自助・共助

去る9/1(土)に開催された「災害在宅医療推進フォーラムin京都・奈良」に参加しました。

「京都・奈良にも災害はやってくる～災害発生から72時間 救える命がそこにある～」をテーマに、東日本大震災や能登半島地震を経験された医師やケアマネジャーによる講演や、医療関係者によるシンポジウムが行われました。紙面に載せきれない貴重なお話の中から学んだことを一部紹介します！

東日本大震災を経験した 在宅医の立場から



- ・電力がストップし、中継局もダウンし携帯電話は使えなかった。連絡がとれず連携のしようがなかった。
- ・電話が不通で救急車を呼べなかった。
- ・長時間の停電により、家族が一晩中アンビュで命を繋いだ。
- ・自家発電機があっても燃料切れで入院した方もいた。
- ・在宅では燃料(ガソリン等)の調達が一番必要だった。
- ・訪問には緊急通行車両の認定申請が必要だった。

能登半島地震を経験した ケアマネジャーの立場から



- ・携帯電話は全く使えないキャリアがあった。使えた携帯電話で電話やLINEを利用して連絡をとった。
- ・発災数日は混乱のため行政職員の不在が多かった。
- ・在宅酸素を停電で使用できず、救急要請したがつながらず、家族が直接病院に搬送した。
- ・とにかく家族が必死に頑張ってくれた感があった。
- ・被災後に閉業を余儀なくされる事業所もあり、ケアマネ難民も増えている。

震災を経験して
わかったこと

発災後72時間は

自助が大事！

- ★ 危険地域からの早期撤退ができるように避難経路を考え、確保しておく。
- ★ 非常用電源の確保(自動車は燃料満タンにし、電力供給可能な出力端子をつけるなど)
- ★ 自助が十分に可能となる設備とマニュアルを患者・利用者宅に準備しておく。
(吸引器は足踏み式や手動式を経験し慣れておく、通信手段の確保など)
- ★ 在宅医療・介護・福祉に関する職種に緊急通行車両の認定申請をすばやく行う。

シンポジウムでは

現行のシステムでは在宅医療への
支援は48時間やってこない。

電話が不通の場合誰がどのように安否
確認するのかなど、実効性のあるBCPが必要。
地域BCPを策定し、共に協力できる体制を
構築しておくことで復旧が早まる。

共助を目的に、災害時に情報共有できるよう
奈良あんしんネット(MCS)の模擬訓練を実施。
ふだんから使い慣れておくことが大事！

支援者は多くても、受援体制の不足で受け入れられなかった。
情報収集に協力し、受援体制を構築することが大事。

◎ 災害死、災害関連死を最小限にするために、自助・共助で乗り切るための事前対策をしよう！

11/11「奈良あんしんネット(MCS)」
(月) による災害時模擬訓練を実施します！

共助のためのネットワーク作りに、
ぜひご参加ください！

詳しくは当センターまでお問い合わせください。



奈良市多職種連携全体研修会を開催します！

「奈良盆地東縁断層地震が起こったらどうする？
～熊本地震の経験から学ぶ～」

日時：2025年2月1日(土)午後

場所：奈良公園バスターミナルレクチャーホール

詳細は改めてご案内しますが、ぜひご予約おきください♪



当院は1984年2月1日に創立し、病床数は59床です。2024年8月より「地域一般入院料3」の施設基準で運営しています。病院理念である「医療の原点は救急にある」を念頭に24時間救急受け入れ、休日夜間もCT・MRI・レントゲン撮影や早期手術に対応し、奈良の二次救急医療に貢献してきました。

脳神経外科、外科、整形外科、内科、放射線科の診療科があり、人間ドック、健診も行っています。また、当院では手話通訳士が在勤し、聴覚障がい者の支援を積極的に行っています。今までは地域連携部門は病棟看護師と事務職員が兼務していましたが、昨今の患者様を取り巻く環境の複雑化、多疾患併存や単身独居、身寄りのない方、経済的な困窮等、退院調整が困難なケースが多くなってきたため、2023年3月より、専任退院調整看護師1名、病棟兼務看護師3名、事務職兼務2名で退院調整部門の強化に努めています。入院当初より、かかりつけの病院やクリニック、入所施設や担当ケアマネジャーと連携し、患者様情報の早期共有に努めています。可能な範囲で入院時や入院中及び退院前カンファレンスを開催して、本人と家族様の意向確認及び支援担当者との情報交換を行い、退院後の生活が円滑になるように心がけています。自宅退院困難で身寄りのない方は、介護保険新規申請、介護老人福祉施設新規入所や、自宅・家財道具処分等、個々の状況に応じて支援介入も行っています。場合によっては成年後見人手続きの案内や経済困窮者には生活保護課と連携し、入所施設等の相談もしています。また、転院時には入院前情報と当院情報を併せて情報提供し、患者様を取り巻く地域との連携強化に取り組んでいます。まだまだ連携不足の事が多々ありますが、これからも継続して地域医療の貢献に取り組んでいきたいと考えています。今後ともよろしくお願いたします。

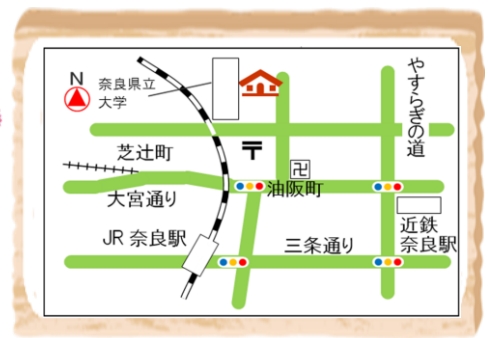


いつもお世話になっております。若草地域包括支援センターです。

私たちは佐保小学校、鼓阪小学校、鼓阪北小学校区を担当しています。事務所は近鉄奈良駅・JR奈良駅どちらからも徒歩圏内の油阪船橋商店街にあります。担当圏域の特徴は、高齢化率が現在約37%となっており、住民の高齢化が進んでいます。また、奈良公園にも近く、東大寺や二月堂、春日大社など多くの寺社が点在している観光地にあり、春は佐保川の桜が楽しめ、たくさんの方が訪れ、幻の大仏鉄道と呼ばれているルートもあり、遺構めぐりマップを片手にウォーキングされている方々もよくお見かけします。

このように良い環境、特徴もありますが、生活面ではスーパーの閉店が相次ぎ、買物に不便を感じておられる方や福祉センターや公民館などの講座やサークルに興味があるものの、歩いていくのが不安という方もおられます。ご相談があった場合には、ご自宅の近くの通いの場や移動スーパーをご案内することもあります。

このような地域の中で私たちは、つながること、相談しやすい場となること、顔の見える関係づくりを大切に、みなさまが安心して生活してくださる支援が継続できるように心がけたいと思っています。



地域包括支援センター

